

ミニブック一覧



ブラックホールの秘密

「ブラックホールはなぜあるとわかるのか」について最新の話題をふくめてわかりやすく解説しています。ブラックホールをより深く知りたい方へおすすめの1冊です。



はやぶさ2 リュウグウを探查

小惑星「リュウグウ」ではやぶさ2の探查の様子をお伝えします。探查が進んでいく当時の様子を振り返ります。



星の時間

1分間からはじめられる星空観察入門。大都会で楽しむためのヒントが満載。星の名前がわからない方でも安心のビギナー向けです。



そらみたことか

虹を見つけると、なんだかうれしくなりますね。でも空に見えるのは虹だけではありません。虹や、虹のような空に見える現象について、見つけ方やその仕組みを紹介します。



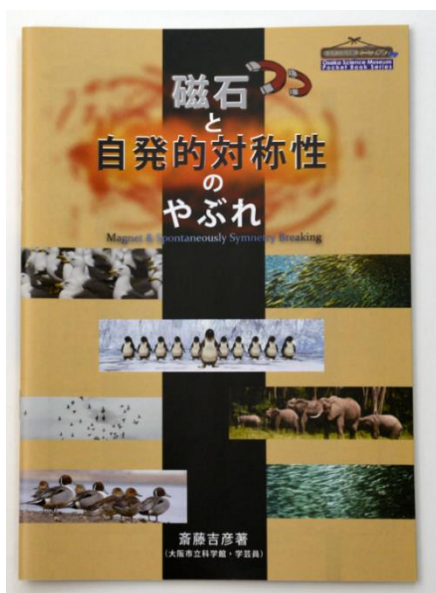
静電気博士になろう

静電気の性質を知ろうと日本で初めて本格的な研究に取り組んだ江戸時代の大阪の科学者・橋本宗吉。彼の業績を解説し、現代風にアレンジした彼の静電気実験も紹介します



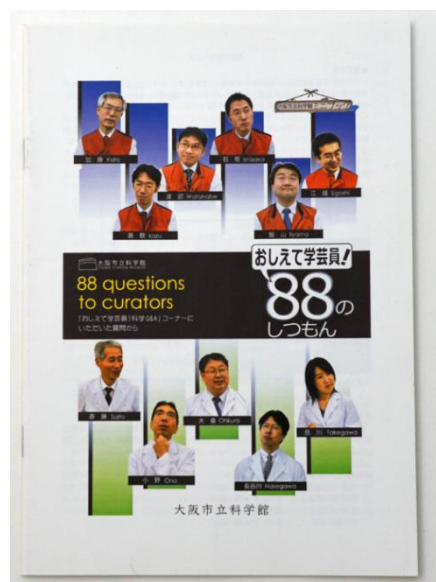
生薬

展示場 3 階の「生薬ウォール」で紹介している数多くの生薬から 20 種類を取り上げ、それぞれの生薬の用途や、そもそもどんな植物か、またその化学成分について解説。



磁石と自発的対称性のやぶれ

ノーベル賞物理学者、南部陽一郎博士の理論「自発的対称性のやぶれ」を磁石の楽しい実験から紹介。南部理論を楽しく実験する展示が科学館にあるけど、さらに楽しくなるよ！



おしえて学芸員！88のしつもん

[おしえて学芸員！Q&A]コーナーでお客様にいただいた質問に学芸員が答えます。「ブラックホールに吸い込まれたらどうなるの?」「磁石はどうしてくっつくの?」などなど。



江戸時代の天文学

天文学史を専門とする当館の嘉数学芸員が、豊富な資料で江戸時代の天文学を解説します。



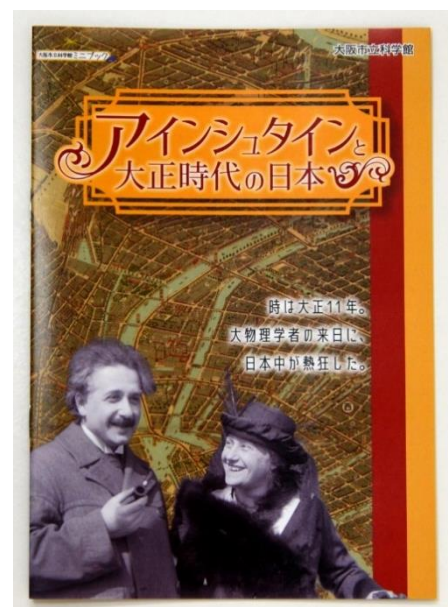
渋川春海と江戸時代の天文学

江戸時代を代表する天文学者とその時代の天文学の様子を紹介します。



大阪市立科学館資料で見るノーベル賞

2017年9月から12月に開催した企画展のミニブック。科学館が所蔵するノーベル賞に関する資料を通じて、その研究内容を紹介します。



アインシュタインと大正時代の日本

アインシュタインと日本とのかかわりについてご紹介します。来日した大正時代、特に大阪のようすや、「相対性理論」に対する人々の熱狂ぶりなどを当時の資料でたどってみましょう。



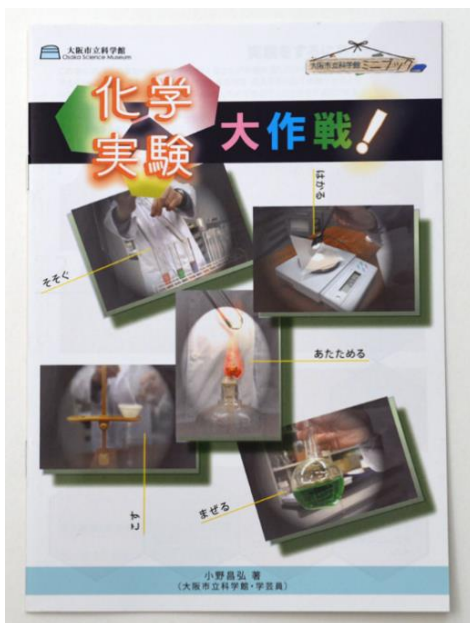
自由研究のたね

すぐにためせる7つの実験とアイデアが詰まった1冊。どれもすぐに出来るものばかりです。気軽に挑戦してみましょう。夏休みの自由研究にどうぞ！！



だまされる目

違う大きさなのに同じ大きさに見えたり、本当の形とは違うように見えたり…と、目の錯覚を楽しめる一冊。簡単な工作で、不思議な動きに見えるキューブも作ることができます。



化学実験大作戦！

「防虫剤から針のような結晶を作れ!」など、家にあるものやホームセンターなどで手に入るものを使った化学実験を載せています。5つのミッションをクリアすることができるか。



スーパー磁石で大冒険

当館館長の齋藤が、磁石について楽しく解説します。9つの問題を解きながら、巨大ネオジム磁石のとてつもない迫力で、磁石の不思議に迫ります。動画がYouTubeにリンク！